

目標達成計画

事業所名 グループホーム寿の家希中央

作成日：令和6年3月20日

評価結果

市町提出日：令和6年3月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護支援専門員が作成した介護計画を基に、毎月の職員会議でモニタリングをし、ケア内容を検討しているが、職員会議に参加できない職員もいる。	モニタリング後の記録について、全員が目を通し、計画の変更等を共有する。	モニタリング後の記録について、全員が目を通したと分かる様に、署名欄を設け徹底する。	6か月
2	4	運営推進会議では、写真(希張だより)を見ながら利用者とのかかわり方、日々の内容を報告していたが一方的になっていた。	苑からの一方通行ではなく、会議参加者全員の意見交換ができる場になるようにする。	コロナも落ち着き昨年4月より、通常開催できるようになり、苑で取り組んでいるテーマに【介護の基礎、感染症、拘束等】に沿ってはなしあっていく。	12か月
3	6	毎月1回開く職員会議においては話しているが、身体拘束委員会としての会議は持ててない。	少ない人数の中でも、委員を決め、身体拘束廃止に向けて取り組んでいく。	身体拘束委員を決め、職員会議でも身体拘束委員会としての時間を取っていく。職員会議の中で時間が取れない場合は、日を改め委員会を取る。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。